

デジタル病理システムと病理診断

近年、最新デジタル技術を応用して、組織のガラススライドをコンピュータ画面で観察する方法が報告されています。病理画像をデジタル化することで、テレパソロジーを始めとした応用が期待されています。

この度、「ナノゾーマー」(浜松ホトニクス株式会社製)を用いた院内ネットワークの運用例、研究事例を紹介するセミナーを開催します。同時に、装置の実演も行いますので、是非、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

1. 日時 2006年8月28日(月)
 2. 会場 大阪大学銀杏会館3階大会議室
 3. プログラム
- | | | |
|-------|-----------------|---|
| 14:30 | 開場 | |
| 15:00 | 開会の挨拶 | (大阪大学 青笹 克之) |
| 15:15 | ナノゾーマの紹介 | (浜松ホトニクス株式会社 内山 茂) |
| 15:30 | 応用例の紹介 | (Radium Hospital: Prof. Danielsen HE)
「院内ネットワークの運用例紹介」 |
| 16:00 | 応用研究紹介 | (元 Fairfield 社 : Dr. Clinch N)
「DNA Image Ploidy」 |
| 16:30 | 閉会の挨拶 | (浜松ホトニクス株式会社 晝馬日出男) |
| 16:45 | ナノゾーマデモンストレーション | 「ガラススライドのスキャン実演」 |
| 18:00 | 閉場 | |

誠にお手数ではありますが、大まかな参加人数を事前に把握するため、参加をご希望される場合は下記連絡先まで申し込みをお願い致します。

主催: 大阪大学大学院医学系研究科病態病理学
浜松ホトニクス株式会社

連絡先: 大阪大学大学院医学系研究科病態病理学 飯塚徳重

Tel: 06-6879-3711, Fax: 06-6879-3719

e-mail: iizuka@molpath.med.osaka-u.ac.jp